

プログラム

シンポジウム 関連講演

シンポジウム

企画セッション

アドバンストコース

第7回てんかん専門医指導医講習会

第11回てんかん学研修セミナー

てんかん教育入門コース

発作時ビデオ自習室

メディカルスタッフセッション

MOSES トレーナーミーティング

市民公開講座

シンポジウム 1 関連講演 A 会場 (1F 中ホール・大地) 第 1 日/10 月 7 日(金) 9:00~9:50

座長: 近藤 聡彦 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

SR1 SEEG, epilepsy surgery, and insula

Marc Guenot

Department of Functional Neurosurgery, Hospices Civils de Lyon (Lyon University Hospital) & University of Lyon

シンポジウム 2 関連講演 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 1 日/10 月 7 日(金) 9:00~9:50

座長: 高橋 幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

SR2 グルタミン酸受容体制御蛋白質とてんかん

Regulators of glutamate receptors and epilepsy

深田 正紀^{1,2)}、横井 紀彦^{1,2)}、宮崎 裕理^{1,2)}、深田 優子^{1,2)}

1)生理学研究所生体膜研究部門 2)総合研究大学院大学

シンポジウム 4 関連講演 A 会場 (1F 中ホール・大地) 第 1 日/10 月 7 日(金) 13:10~14:00

座長: 井上 有史 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

SR4 交通安全のための自動車技術

Automotive technology for traffic safety

鎌田 実

東京大学大学院新領域創成科学研究科

シンポジウム 5 関連講演 A 会場 (1F 中ホール・大地) 第 1 日/10 月 7 日(金) 16:10~17:00

座長: 井上 有史 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

SR5 Epilepsy and art

Peter Wolf^{1,2)}

1)Danish Epilepsy Centre, Dianalund, Denmark

2)Federal University of Santa Catarina, Florianópolis, Brasil

シンポジウム 7 関連講演 A 会場 (1F 中ホール・大地) 第 2 日/10 月 8 日(土) 9:00~9:50

座長: 加藤 光広 (昭和大学医学部小児科学講座)

- SR7** **Genetic basis of focal disorders of cortical development underlying epilepsy**
Joseph G. Gleeson
Investigator HHMI, Rady Professor of Neuroscience, University of California, Rockefeller
University

シンポジウム 8 関連講演 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 2 日/10 月 8 日(土) 9:00~9:50

座長: 池田 昭夫 (京都大学てんかん・運動異常生理学講座)

- SR8** **てんかんの病態解明における広帯域脳波の意義**
Significance of broad-band electroencephalogram for the elucidation of pathophysiology of
epilepsy
小林 勝弘
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学

シンポジウム 10 関連講演 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 3 日/10 月 9 日(日) 8:55~9:45

座長: 井上 有史 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

- SR10** **Epilepsy and employment**
Rupprecht Thorbecke
Epilepsy-Center Bethel, Society for Epilepsy Research

Stereoelectroencephalography (SEEG)

座長：堀 智勝 (新百合ヶ丘総合病院)

近藤 聡彦 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

SEEG は 1965 年に Talairach、Bancaud らにより開発されて以降、ヨーロッパ特にフランスを中心に行われてきた定位的頭蓋内電極留置法であるが、近年は北米や中国でも症例数が増加している。SEEG は開頭を要さず、硬膜下電極では困難とされる Cingulate gyrus や Insula などの脳深部の発作焦点検索においても優れており、また 3 次的に発作拡張様式やネットワークを把握する上でも有用であるとのメリットが謳われている。そこで、本シンポジウムでは今後の SEEG の日本への導入を見据えて、その現状を適応や優位性、限界・留意点などについてフランス、中国、米国それぞれの観点から御講演頂く。

S1-1 SEEG 海外での経験そして、日本での導入まで

Experiences of SEEG implantation from Marseille to Saitama

久保田 有一¹⁾、中本 英俊¹⁾、落合 卓²⁾

1) Stroke and Epilepsy Center, Asakadai Central General Hospital 2) おちあい脳クリニック

S1-2 Current status of SEEG practice in China : introduction and development

Sinclair Liu

Guangdong Sanjiu Brain Hospital Epilepsy Center, Guangzhou, P. R. China

S1-3 Insular lobe epilepsy masquerading as mesial frontal epilepsy

萩原 綱一¹⁾、Jean Isnard²⁾

1) 九州大学臨床神経生理

2) Hospices Civils de Lyon, Neurological Hospital, Functional Neurology and Epileptology
Department, Lyon, France

S1-4 Stereoelectroencephalography in a North American epilepsy center

江夏 怜

札幌医科大学医学部脳神経外科

免疫介在性疾患の急性発作・てんかんを考える

座長：高橋 幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

米田 誠 (福井県立大学看護福祉学部・研究科)

【趣旨・狙い】

神経疾患には、自己抗体が関与すると考えられる非ヘルペス性急性辺縁系脳炎(NMDAR 脳炎)、橋本脳症、VGKC 複合体抗体介在性疾患や、細胞傷害性 T 細胞の関与が推測される傍腫瘍症候群、未解明であるが免疫が関与しているとされる ADEM などが知られている。これらの疾患症例は、急性期あるいは後遺症期に、急性発作を含むてんかん発作を呈することがあるが、発作の特徴など未解明な点が多い。急性発作の臨床脳波特徴、治療法の確立、てんかん治療の確立などが期待されているが、稀な疾患でエビデンスが少なく、これまでの経験の検討、文献的考察を主体に、参加者皆で考えてみたい。

S2-1 急性散在性脳脊髄炎による急性発作・てんかん発症

Acute symptomatic seizures and epilepsy caused by acute disseminated encephalomyelitis

吉良 龍太郎

福岡市立こども病院小児神経科

S2-2 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の急性発作、てんかん

Acute seizures and epilepsy in patients with non-herpetic acute limbic encephalitis

高橋 幸利、西村 成子、高尾 恵美子、笠井 理沙、榎田 かおる、井上 有史

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

S2-3 VGKC 複合体抗体が関連する疾患と急性発作・てんかん

VGKC-complex antibody associated disorders including epilepsy and acute attack.

渡邊 修

鹿児島大学病院神経内科

S2-4 傍腫瘍性神経症候群と急性発作

Paraneoplastic neurological syndrome with seizures

田中 恵子^{1,2)}

1) 新潟大学脳研究所細胞神経生物学分野 2) 福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座

S2-5 橋本脳症とてんかん

Epilepsy in Hashimoto's encephalopathy

米田 誠

福井県立大学看護福祉学研究科

てんかん対策基本法制定に向けてのシミュレーション

座長：川合 謙介 (自治医科大学脳神経外科)

太組 一朗 (日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科)

【趣旨・狙い】

法制定は施策を決定づけるものである。がん対策基本法が制定されて以来、国民病である「がん登録」を国の責任において全数登録を義務化し、悉皆的なデータに基づいた分析、予防措置を含むがん対策、そして治療法の開発などができるようになった。法制定の有効な手段である、議員立法とは何か。他疾患である脳卒中では、どのような視点から法制定が求められているのか？本法が成立すると、医療現場はどのように進化するだろうか。患者の視点はどうか。

本シンポジウムではこれまでの疾病対策基本法案の成立過程を検討することによって、それぞれの立場から、てんかん医療が置かれている状況をより良いものにするために必要な要因を検討する。

S3-1 平成 28 年度診療報酬改定について (てんかん医療を中心に)

大島 和輝

厚生労働省保険局医療課

S3-2 「脳卒中对策基本法」から「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」への変身

Legislation of Stroke and Heart Disease Act for better cardiovascular medicine

山口 武典

国立循環器病研究センター

S3-3 議員立法設立の経験から一がん登録法成立過程と脳卒中对策基本法案の難しさ (仮)

秋野 公造

参議院議員

S3-4 てんかん対策基本法が制定されると医療現場はどう変化するか？

How will the healthcare setting change following the establishment of the Basic Law for Epilepsy Measures?

山野 光彦

東海大学医学部内科学系神経内科学

S3-5 患者の立場から他疾患と比べると、てんかん領域では何が遅れているか

What is delayed at epilepsy territory compared with other diseases from the view point of a patient?

原 隆也

読売新聞東京本社編集局医療部

S3-指定発言

大澤 眞木子
東京女子医科大学名誉教授

シンポジウム 4 A 会場 (1F 中ホール・大地) 第 1 日/10 月 7 日(金) 14:10~15:00

先端技術とてんかんケア

座長：久保田 英幹（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター）

【趣旨・狙い】

本セッションでは、「てんかん患者さんの生体信号の有用性」と「日常生活で起こる事故」というテーマに関連した先端技術についてご講演いただきます。近年、てんかん発作の予知や突然死(SUDEP)という面から、各種の生体信号と発作の関連が注目されています。前半では“着る”生体信号センサーについてご講演いただきます。また、後半では日常生活で起こる事故に関連した先端技術として、入浴中や就寝中の発作感知センサーや転倒時の外傷を予防する“着る”エアバッグについてお話しいたします。これらの技術を通し、今後のてんかんケアに関する技術の今後の方向性について検討いただければと考えております。

S4-話題提供 1

てんかんにおける生体信号の有用性
荒木 邦彦
名古屋大学神経内科

S4-1 ウェアラブル生体センサーについて

Trend of wearable sensors
三寺 歩
ミツフジ株式会社

S4-話題提供 2

てんかんにおける日常生活での事故
荒木 保清
奈良医療センター神経内科

S4-2 ベッド・浴槽における発作感知装置について

Epileptic seizures sensing device in beds and bath.
小林 信明
メディカルプロジェクト

S4-3 てんかん患者用転倒エアバッグの開発

Development of fall air bag for epileptic patients.

吉村 拓巳¹⁾、高橋 幸利²⁾、内田 光也³⁾、田村 俊世⁴⁾

1) 東京都立作業技術高等専門学校 2) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

3) 株式会社プロップ 4) 早稲田大学次世代ロボット研究機構

シンポジウム 5

A 会場 (1F 中ホール・大地)

第 1 日/10 月 7 日(金) 17:10~19:00

音楽とてんかん

座長：大坪 宏 (トロント小児病院)

池田 仁 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

音楽とてんかんについて、音楽を聴くと誘引されるてんかん発作、聴覚野の解剖と機能マッピング、リズムと最近の音楽療法から聴覚野と脳の間関係を勉強することで、てんかん発作の一部の仕組みを考える。てんかん発作を持った音楽家たちとその曲からてんかん発作との関連を勉強してみる。

S5-1 音楽てんかん

Musicogenic epilepsy

池田 仁

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター神経内科

S5-2 聴覚野の解剖と機能マッピング

Morphological and functional mapping of human primary auditory cortex

尾崎 勇

青森県立保健大学健康科学部

S5-3 リズムと音楽療法

Rhythm and music therapy

佐藤 正之

三重大学大学院医学系研究科認知症医療学

S5-4 ベルリオーズの音楽と若年ミオクロニーてんかん

Music of Hector Berlioz and his juvenile myoclonic epilepsy

松浦 雅人

田崎病院

シンポジウム 6

D 会場 (10F 1001)

第 1 日/10 月 7 日(金) 16:10~18:00

今年発売された抗てんかん薬を学ぶ

座長：千葉 茂 (旭川医科大学精神医学講座)

須貝 研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

【趣旨・狙い】

新規抗てんかん薬と呼ばれるガバペン(2006)、トピラマート(2007)、ラモトリギン(2008)、レベチラセタム(2010)、およびその後のスチリペンツール(2012)、ルフィナミド(2013)が本邦に導入され、てんかんの薬物治療に変化が生じた。本年は、さらに新たな 4 剤(ビガバトリン、ペランパネル、オクスカルバゼピン、ラコサミド)が一挙に使用可能となり、治療選択肢が増加する。それぞれの薬剤の適応、効果と忍容性、薬物動態、作用機序といった基本的な情報を把握しておくことは、薬剤をより良く使用するために重要である。今年発売される 4 つの薬剤の特徴と使用法について、まとめて学べる場を提供する。

S6-1 ラコサミドを学ぶ

About Lacosamide

寺田 清人

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

S6-2 ペランパネルを学ぶ

Peranpanel, a new AED

兼子 直

湊病院北東北てんかんセンター

S6-3 ビガバトリンを学ぶ

Vigabatrin

浜野 晋一郎

埼玉県立小児医療センター神経科

S6-4 オクスカルバゼピンを学ぶ

About Oxcarbazepine

池田 ちづる

国立病院機構熊本再春荘病院

共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

シンポジウム 7

A 会場 (1F 中ホール・大地)

第 2 日/10 月 8 日(土) 10:00~11:50

てんかん原性についての基礎研究：臨床に役立つ知見

座長：柿田 明美 (新潟大学脳研究所)

岡田 元宏 (三重大学精神神経科学)

【趣旨・狙い】

本学会の基礎研究推進委員会は、「てんかん研究」誌に“特別企画シリーズ：てんかんを分かり易く理解するための神経科学”(33 巻 1 号、同 3 号、34 巻 1 号：以後続刊予定)を連載している。この企画について学会員から、委員会の予想を上回る反響を頂いている。このことは、てんかんの診療と研究を進める上で、臨床・基礎の両方向からのクロストーク：トランスレーショナルアプローチの重要性を、学会員が認識していることとも考えられる。本シンポジウムでは、ヒトのてんかん病態を理解する上で参考となる基礎研究の知見を整理し紹介する。臨床に役立つ可能性のある事実を焦点を当て、その意義を discussion したい。

- S7-1 シナプス分泌機構に着目したてんかん病態解析：シナプス小胞蛋白 SV2A とてんかん原性
Pathophysiological analysis of epilepsy with a focus on synaptic neurotransmitter release :
Synaptic vesicle glycoprotein 2A (SV2A) and epileptogenesis
大野 行弘
大阪薬科大学薬品作用解析学研究室
- S7-2 熱性けいれんとミクログリア
Microglia in febrile seizures
小山 隆太
東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学
- S7-3 抑制性シナプス機能のダイナミクスとてんかん原性
Dynamics of inhibitory synaptic function underlying epileptogenesis
福田 敦夫
浜松医科大学神経生理学講座
- S7-4 ヒトてんかん原性脳病巣の病態を知るための病理学的アプローチ
Pathophysiological aspects on human epileptogenic brain tissue.
柿田 明美
新潟大学脳研究所

脳波のサイエンスとアート：脳波はツールか、研究トピックか？

座長：池田 昭夫（京都大学てんかん・運動異常生理学講座）

小林 勝弘（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学）

【趣旨・狙い】

近年、HFO の自動解析などのプログラムが出現してきたが、脳波自体の自動判読には至っていない。その背景として、正常亜型、てんかん性放電などの(医学的、数学的)定義がなされていない、判読者間のばらつきが大きい、などの理由がある。また、脳波の判読の全てがサイエンスであれば解析プログラムの作成は可能となるが、アートの部分が大きければコンピューターの判読に全てを委ねるのは困難である。そこで、プログラム作成の立場から判読自動化の現状と現時点での限界・問題点について、臨床家の立場からは正常亜型の評価の現状、用語の標準化の現状についてお話しいただき、今後の研究の方向性を模索する。

S8-1 脳波の過去・現在・未来

Past, present, and future of EEG

松浦 雅人

田崎病院

S8-2 脳波自動判読システム開発の現状

Current state on the development of automatic EEG interpretation system.

杉 剛直

佐賀大学大学院工学系研究科

S8-3 ブレイン・マシン・インターフェースの研究開発者から見た脳波解析の将来展望

Future prospects of EEG analysis from the viewpoint of brain machine interfaces

平田 雅之

大阪大学国際医工情報センター臨床神経医工学

S8-4 臨床家の立場より、正常亜型の現状・これから、用語の標準化にむけて

Normal EEG variants : current status and future directions for standardization of terminology.

秋山 倫之^{1,2)}

1) 岡山大学病院小児神経科 2) 岡山大学病院てんかんセンター

シンポジウム 9 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 2 日/10 月 8 日(土) 17:10~19:00

てんかんでみられる精神症状の対応のコツ

座長：兼本 浩祐 (愛知医科大学精神神経科)

谷口 豪 (東京大学医学部附属病院精神神経科)

【趣旨・狙い】

てんかんでみられる精神症状は多岐にわたるが、そのなかでも、うつ、発達障害、心因性非てんかん性発作(PNES)は出現頻度が高く、てんかんのある人の生活に大きな影響を及ぼす。これらの病態の把握と対応はてんかん診療には必須であり、一部の専門家のみが行うものではない。そこで、3つの病態に精通する専門家に、エビデンスと、経験に基づく対応の「コツ」をお話し頂く。それぞれについて、若手~中堅の医療者より実際の臨床上の問題点・疑問点について指定発言をして頂き、座長や聴衆との議論を通してどのように一般臨床で実践していくかを検討する。

S9-1 てんかんにおけるうつ状態

Depression in epilepsy

伊藤 ますみ

上善神経医院

S9-2 てんかん診療でみられる発達障害—臨床心理士の立場から—

Management of developmental disorders in children with epilepsy—a view of psychologist

杉山 修

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター発達支援室

S9-3 てんかん診療でみられる PNES：効果的な PNES の診断説明について

Management tips of presenting the diagnosis of PNES

谷口 豪¹⁾、岡村 由美子¹⁾、西村 亮一¹⁾、出淵 弦一¹⁾、矢野 健一²⁾

1) 東京大学医学部附属病院精神神経科 2) 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部

S9-指定発言 1

田所 ゆかり

愛知医科大学病院精神神経科

S9-指定発言 2

竹下 絵里

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

S9-指定発言 3

岩城 弘隆¹⁾

1) 湊病院北東北てんかんセンター 2) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

シンポジウム 10 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 3 日/10 月 9 日(日) 9:55~11:45

てんかんと雇用

座長：久保田 英幹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
青柳 智夫 (横浜 SSJ 相談支援室)

【趣旨・狙い】

はたらくことは、収入を得るための手段だけではなく、社会的役割をもち、自己価値を確認し、人としての尊厳を守るために重要な役割を果たす。障害のある人にとり働くことが果たす役割は一層重要で、てんかんのある人も例外ではない。本シンポジウムでは、てんかんのある人の就労の課題を発作と事業主の意識の視点から検討するとともに、就労や職場定着を促進するための制度や支援策について検討する。

S10-1 職場でのてんかん発作のリスク

Risk of accidents by epileptic seizures at work
西田 拓司
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

S10-2 てんかんのある人の雇用 事業主の意識調査

Factors affecting employment status in Japan
青柳 智夫
横浜 SSJ 相談支援室

S10-3 てんかんのある人の雇用支援の実際

Actual person of employment support with epilepsy
根本 真理子
特定非営利活動法人まひろ障害者就業・生活支援センターアイキャリア

S10-4 職域における産業保健スタッフの役割と主治医の連携

Roles of and cooperation between chief physicians and industrial health staff in the workplace
山野 光彦
東海大学医学部内科学系神経内科学

S10-5 改正障害者雇用促進法に基づく障害者雇用における差別禁止と合理的配慮

谷部 真之
厚生労働省職業安定局雇用開発部障害雇用対策課

企画セッション 1 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 1 日/10 月 7 日(金) 13:10~15:00

おこりうる大災害への想像力

座長：中里 信和 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)
亀山 茂樹 (国立病院機構西新潟中央病院)

【趣旨・狙い】

本企画は日本でんかん学会の特別企画セッション「大規模災害急性期とてんかん～想定外への備え～」を総合テーマとして、昨年の長崎大会から開始された。初回は東日本大震災直後の被災地てんかん診療の現状と急性期の支援を検証した。2 年目となる今回は、「おこりうる大災害への想像力」をテーマとして、東日本大震災とは別の種類の大規模災害が発生した場合のイメージトレーニングを目的としている。災害時に活躍するのは医師だけではなく、まさに多職種連携が基本となる。想定外に対応するには平時からの心構えも重要であり、演者と参加者との間での活発な討論を期待したい。

PS1-1 薬剤師、前線へ！

Beyond the hospital doors : where clinical pharmacists are needed to care victims of the great eastern Japan earthquake.
関川 敬
国立病院機構西新潟中央病院薬剤部

PS1-2 大災害時に一般医療機関並びに一般看護師はどう行動すべきか

What is required to do by the staff of general medical institution at the great disaster.
土肥 守
独立行政法人国立病院機構釜石病院

PS1-3 大災害に向けて、動き始めた新しい災害医療

New disaster medical service for the great disaster
小井土 雄一
国立病院機構災害医療センター

PS1-4 Epilepsy care during SARS pandemic in Taiwan

尤 香玉
Neurology Department, Taipei Veterans General Hospital, Taipei, Taiwan

PS1-5 大規模災害と精神医学

Large-scale disasters and psychiatry
富田 博秋^{1,2,3,4)}

- 1) 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野
- 2) 東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野
- 3) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構メンタルヘルスケア推進室
- 4) 東北大学病院精神科

企画セッション 2

D 会場 (10F 1001)

第 1 日/10 月 7 日(金) 13:10~15:00

てんかん食・従来薬・新薬の使い分けと使いこなし

座長：榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

今井 克美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

新規抗てんかん薬の登場によりてんかんの内科治療は変わりつつあるが、難治性てんかんがなくなることはなく、従来薬が欠かせない症例も経験される場所である。ケトン食などの低糖質食が今年度からてんかん食として正式に認可され、内科治療の選択肢が広がるとともに、治験以外の未承認薬への期待も高まっている。

原因疾患に対する特異的治療や根治的外科治療の困難な難治性てんかんの治療において、これらの内科治療をいかに使い分け、使いこなすかは、ますます重要性を増している。

PS2-1 てんかん食の種類と使い分け

Which diet should we use, classical ketogenic diet, medium-chain triglyceride ketogenic diet, modified Atkins diet, or low glycemic index treatment?

熊田 知浩

滋賀県立小児保健医療センター

PS2-2 従来薬の使い分けと使いこなし

Proper use of conventional drugs

福島 克之

福島神経クリニック

PS2-3 成人の難治性症候性局在関連てんかんに対するラモトリギンの効果

Effects of lamotrigine in patients with refractory symptomatic localization-related epilepsy

中村 文裕

さざ波てんかん神経クリニック

PS2-4 新規抗てんかん薬の使い分けと使いこなし (LEV を中心に)

Usage of new anti-epileptic drugs with a focus on LEV.

金村 英秋

山梨大学医学部小児科

PS2-5 追加発言

An additional remark

今井 克美

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

女性とてんかん

座長：吉永 治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科))

岩佐 博人 (社会医療法人社団同仁会木更津病院/きさらづてんかんセンター)

【趣旨・狙い】

女性のとてんかんはホルモンのバランスと密接に関連し、月経周期や妊娠によって発作の増減など様々な変化がみられる。そしててんかんに対する不安や心配も女性は、特に妊娠においては抗てんかん薬の胎児に対する影響の不安を初めとしてライフワークの中で男性とは異なる特有の問題に直面する。こういった女性特有の問題を知り、患者に対する説明が十分になされるためには、医療従事者は、女性とてんかんについて十分知識を深めておく必要がある。男女共同参画委員会では、新規抗てんかん薬が豊富となった今の時代に、産婦人科の先生にもご参加いただき、今一度このテーマを会員の皆様と共有したいと考え、「女性とてんかん」を企画した。

PS3-1 ホルモンバランスからみたてんかん

Hormonal care of women with epilepsy

渡辺 雅子

新宿神経クリニック

PS3-2 思春期のてんかん女性の気持ち

Women with epilepsy.

前澤 眞理子¹⁾、堂本 洋一²⁾、玉田 耕一³⁾、園田 さとみ³⁾

1) 鶴見大学 2) 伊勢慶友病院脳外科 3) 伊勢慶友病院小児科

PS3-3 てんかんとともに生きる女性の葛藤

The psychological conflicts of women with epilepsy

保阪 玲子

社会医療法人社団同仁会木更津病院

PS3-4 てんかんをもつ女性の周産期のケア

Perinatal care in the patients of women with epilepsy

平田 幸一、永島 隆秀

獨協医科大学医学部内科学 (神経)

PS3-5 てんかんをもつ女性の妊娠・出産—産婦人科の立場から

Pregnancy and labor of women with epilepsy—from the Department of Obstetrics position

大浦 訓章

杉山産婦人科

てんかん診療における救急対応

座長：小出 泰道 (小出内科神経科)

白石 秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)

【趣旨・狙い】

救急の現場で痙攣性疾患に遭遇する場面は、全年齢にわたり多く存在します。痙攣を生じる原因は多岐に渡り、脳出血・脳虚血、脳腫瘍、脳炎・脳症、電解質異常・代謝異常から、てんかん発作の発現などが考慮されます。

日常診療の場面で遭遇する痙攣性疾患の対応、並びに、てんかん診療の場で遭遇する救急事態に対する対処に関して、新生児科、小児科、救急科、脳神経外科、神経内科における第一線の専門家にご登壇頂き、痙攣性疾患に対する評価方法、対応、現在考えられているスタンダード治療、あるいは先進的治療・評価、そして将来への問題点・課題に関する発表を頂きます。

PS4-1 新生児～乳児期における救急対応

Neonatal epileptic emergencies.

久保田 哲夫

安城更生病院小児科

PS4-2 てんかん診療における救急対応—乳児期から小児期—

Emergency evaluation and treatment of epilepsy in infancy and childhood

九鬼 一郎、井上 岳司、温井 めぐみ、岡崎 伸、川脇 壽

大阪市立総合医療センター小児神経内科

PS4-3 救急外来におけるけいれん発作への対応—全国アンケート調査と自施設の比較—

Management for seizures and status epilepticus in the emergency department.

加藤 正哉

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座

PS4-4 周術期における救急対応

Emergency care for the seizure and epilepsy in the perioperative period

花谷 亮典^{1,2)}、有田 和徳¹⁾

1) 鹿児島大学病院脳神経外科 2) 鹿児島大学病院てんかんセンター

PS4-5 てんかん重積治療に関する最近の知見

Current clinical practice of diagnosis and treatment of status epilepticus

小出 泰道

小出内科神経科

最近確立された遺伝子異常によるてんかんの特徴

座長：山形 崇倫 (自治医科大学小児科学)

加藤 光広 (昭和大学医学部小児科学講座)

【趣旨・狙い】

アレー CGH やエクソーム解析など、染色体・遺伝子解析技術の進歩に伴い、てんかんの遺伝学的解析も急速に進展し、多くの難治性てんかんの病因遺伝子が同定された。チャンネル遺伝子や、神経発生や機能に関与する遺伝子で変異が同定され、病因の多様性が示されている。本シンポジウムでは、SCN2A と SCN3A を含む 2q24 重複、autophagy に関連する SENDA の病因遺伝子 WDR45 変異、細胞膜上で蛋白をつなぎ止める糖鎖 GPI アンカーの異常、結節性硬化症にも関連する細胞内情報伝達系の主要分子の mTOR 変異による皮質形成異常等に起因するてんかんに注目し、臨床症状と病態について解説し、てんかんの病態と治療法開発研究について議論したい。

PS5-1 Epilepsy with 2q24 microduplication

吉富 晋作¹⁾、高橋 幸利¹⁾、山口 解冬¹⁾、池田 浩子¹⁾、今井 克美¹⁾、島田 姿野²⁾、
山本 俊至²⁾、井上 有史¹⁾

1) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科 2) 東京女子医科大学統合医科学研究所

PS5-2 WDR45 遺伝子変異を有するてんかん症例

Epileptic patients with WDR gene mutations

高橋 幸利¹⁾、吉富 晋作¹⁾、大星 大観¹⁾、今井 克美¹⁾、池田 仁¹⁾、露崎 悠²⁾、
加藤 光広³⁾、井上 有史¹⁾

1) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター 2) 神奈川県立こども医療センター神経内科
3) 昭和大学医学部小児科学講座

PS5-3 先天性 GPI 欠損症のてんかん

Epilepsy in patients with inherited GPI deficiency

鈴木 保宏

大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

PS5-4 FCD-mTOR に関連したてんかん

Epilepsy associated with focal cortical dysplasia with MTOR mutations

遠山 潤¹⁾

1) 国立病院機構西新潟中央病院 2) 新潟大学歯学総合病院

企画セッション 6 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 2 日/10 月 8 日(土) 13:10~15:00

若年ミオクロニーてんかんー 一歩進んだ理解のためにー

座長: 日吉 俊雄 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター精神科)
笹川 睦男 (医療法人社団つくば健仁会とよさと病院精神科)

【趣旨・狙い】

若年ミオクロニーてんかん(以下 JME)は代表的な特発性全般てんかんであり、典型的な病像についてはよく認識されている。しかし、日常臨床では診断や治療に頭を悩ませる場面も少なくない。焦点てんかん、BAFME、若年発症の進行性ミオクローヌステんかんなどとの鑑別がときに問題となる。一般に良好な予後を示すが難治例も存在する。遺伝学的な側面についての新たな動向を含め、JME の奥深さをあらためて学ぶ機会としたい。

PS6-1 焦点てんかんと JME

Focal epilepsy and JME

井上 有史

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

PS6-2 ミオクローヌスを有するてんかん症候群と JME

Epilepsy syndromes with myoclonus versus JME.

小林 勝哉¹⁾、人見 健文²⁾、松本 理器¹⁾、池田 昭夫³⁾

1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 2) 京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学

3) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学

PS6-3 若年ミオクロニーてんかんの予後

Prognosis of patients with juvenile myoclonic epilepsy

池田 仁

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

PS6-4 JME の遺伝学

Molecular genetics of JME

山川 和弘

理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム

てんかん外科と包括医療

座長：臼井 直敬 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

川合 謙介 (自治医科大学脳神経外科)

【趣旨・狙い】

難治てんかんの患者は、日常生活を障害する発作に加え、さまざまな心理・社会的問題を抱えていることが多く、術後に発作が抑制されても、就労支援やカウンセリングなどの支援を必要とすることも少なくない。外科治療による生活の質の向上のためには、術前・術後を通じた多職種による包括的な評価、支援が行われることが理想的である。しかし、実際には包括的な取り組みはじゅうぶんには行われていないのが現状と思われる。本シンポジウムでは、第一線でてんかん外科治療にかかわる各職種の演者から術前・術後の評価、支援についての現状、課題を提示していただき、よりよい包括医療のあり方について議論を深めたい。

PS7-1 てんかん外科と包括医療—脳神経外科の立場から—

Epilepsy surgery and comprehensive medical care—a neurosurgeon's view—

大槻 泰介

てんかん病院ベーター

PS7-2 小児科の立場から

Pediatric perspectives.

秋山 倫之^{1,2)}

1) 岡山大学病院小児神経科 2) 岡山大学病院てんかんセンター

PS7-3 てんかん外科治療前後の精神症状

Psychiatric aspects before and after epilepsy surgery

西田 拓司

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

PS7-4 精神症状のフォローについて

Psychiatric comorbidities associated with epilepsy.

福智 寿彦

すずかけクリニック

PS7-5 包括てんかん外科治療における看護のかかわり

Role of nurses in comprehensive epilepsy surgery program

原 稔枝

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

PS7-6 てんかん外科治療の効果を最大化するには：心理士の役割
Optimizing the outcome of epilepsy surgery : Psychologist's role
藤川 真由
東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

PS7-7 Rehabilitation around epilepsy surgery—why, what and when
Rupprecht Thorbecke
Epilepsy-Center Bethel, Society for Epilepsy Research

企画セッション 8 A 会場 (1F 中ホール・大地) 第 2 日/10 月 8 日 (土) 16 : 10 ~ 18 : 00

てんかん性脳症—その病態と治療—

座長：小国 弘量 (東京女子医科大学小児科)
重松 秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

てんかん性脳症 (EE) は、大脳皮質形成異常などに起因して乳幼児期に発症する頻回のでんかん発作によって重篤な脳機能障害を生じ、その結果認知機能や行動の発達の停止、退行をきたす疾患の総称であり、その概念は最新の ILAE 国際てんかん 2010 年分類案でも採用されている。現在まで EE を呈する幾つかの特異てんかん症候群が知られているが、今回の企画では West 症候群、Dravet 症候群、CSWS スペクトラム、大脳皮質形成異常に伴うてんかん性脳症について最新の知見に基づくその病態生理と治療についてお話しいただきその理解を深めていただくために企画いたしました。

PS8-1 West 症候群 Up to date
West syndrome up to date
林 裕美子
岡山大学病院小児神経科

PS8-2 Dravet (ドラベ) 症候群の病態と治療
Pathophysiology and treatment of Dravet syndrome
伊藤 進
東京女子医科大学小児科

PS8-3 睡眠時持続性棘徐波 (CSWS) を示すてんかん性脳症
Epileptic encephalopathy with continuous spike-and-wave during sleep.
池田 浩子
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

PS8-4 皮質形成異常を伴う乳児期発症てんかん性脳症の治療と予後

Treatment and long-term prognoses of infantile epileptic encephalopathies in patients with cortical dysplasias

須貝 研司¹⁾、大槻 泰介²⁾、高橋 章夫²⁾、開道 貴信²⁾、金子 裕²⁾、池谷 直樹²⁾、齋藤 貴志¹⁾、中川 栄二¹⁾、佐々木 征行¹⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

2) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科

企画セッション 9

D 会場 (10F 1001)

第 2 日/10 月 8 日(土) 16:10~18:00

困った症例検討会

座長：大坪 宏 (トロント小児病院)

寺田 清人 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

他の疾患と同様、てんかん診療でも時に「困った症例」に出くわすことがあります。このセッションは、それぞれの施設にて経験された「困った症例」を若手の先生方に Presentation いただき、それについての対応法などについて Senior の Commentator の先生に Discussion をしていただきます。この Discussion を通し、実臨床の場における「困った症例」の対応法について勉強していきたいと考えております。

PS9-1 意識が保持され、全身けいれん発作が群発する MRI 陰性症例

An MRI-negative case manifesting refractory SPS-clusters and generalized convulsion with preserved consciousness

音成 秀一郎^{1,5)}、松本 理器¹⁾、下竹 昭寛¹⁾、小林 勝哉¹⁾、人見 健文³⁾、井内 盛遠⁴⁾、丸山 博文⁵⁾、高橋 良輔¹⁾、池田 昭夫²⁾

1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学

2) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学

3) 京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 4) 京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学

5) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院脳神経内科学

PS9-Commentator1

石川 暢恒

広島大学

PS9-2 部分切除で寛解を維持しているラスムッセン脳炎の 1 例

A case of Rasmussen's encephalitis maintaining remission by segmental resection

小出 憲呼、本田 涼子、小野 智憲、戸田 啓介、馬場 啓至

長崎医療センター

PS9-Commentator2

柿坂 庸介

東北大学てんかん科

- PS9-3** 1 年以上にかけてミダゾラム静注療法が終了できないてんかん重積の 1 症例
A therapeutic strategy for super-refractory status epileptics : a case report
山添 知宏、山本 貴道、藤本 礼尚、西村 光代、佐藤 慶史郎、内田 大貴、
中戸川 裕一、横田 卓也、本井 宏尚、金井 創太郎、岡西 徹、榎 日出夫
聖隷浜松病院てんかんセンター

PS9-Commentator3

増田 浩
国立病院機構西新潟中央病院

- PS9-4** 口元をへの字にする複雑部分発作がコントロール困難であった難治性てんかんの 1 例
A case of intractable epilepsy with complex partial seizure consisted of down turned
corners of the mouth
片桐 匡弥^{1,2)}、飯田 幸治^{1,2)}、香川 幸太³⁾、瀬山 剛^{1,2)}、橋詰 顕^{1,2)}、栗栖 薫¹⁾
1) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院脳神経外科 2) 広島大学病院てんかんセンター
3) トロント小児病院小児神経科

PS9-Commentator4

本田 涼子
長崎医療センター

企画セッション 10 D 会場 (10F 1001) 第 2 日/10 月 8 日(土) 18 : 10~19 : 00

てんかん学研修システムを考える (国際担当委員会)

座長 : 池田 昭夫 (京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)
吉富 晋作 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

てんかん学の教育・研修はてんかん学会の主たる使命の一つである。以前より、本学会ではてんかん学の研修を国内の医療従事者だけでなく、海外、特にアジア地域の医療従事者にも行ってきてきた。これらの取り組みにより、国内の各施設・てんかんセンターなどでてんかん学の研修を終え、国内の各地域、さらにはそれぞれの母国でてんかん診療のリーダーとして活躍している医師は少なくない。実際の研修機関へのアプローチ、研修内容、研修を通じて得られた成果、帰国後に研修をどのように活かしているか、自国の施設と日本での研修の異同、研修中の問題点等につきお話していただき、より良い研修のあり方とは何かにつき検討する機会としたい。

PS10-1 トロント小児病院での臨床研究留学

Clinical research at SickKids in Canada
佐久間 悟
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学

PS10-2 日本での研修経験

Training experience in Japan

Pritsana Punyawai

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

PS10-3 国内留学：小児科医の成人てんかんの包括的診療研修

Domestic study-exchange : Experience of comprehensive care system for adult epilepsy as a pediatrician.

井上 岳司²⁾、川脇 壽¹⁾

1) 大阪市立総合医療センター小児神経内科 2) 大阪市立総合医療センター神経内科

PS10-4 JES スカラーシップ、Sponsored award の意義

Significance of JES scholarship and Sponsored award

池田 昭夫

京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

企画セッション 11

D 会場 (10F 1001)

第 3 日/10 月 9 日(日) 10:00~11:50

SUDEP を探る

座長：神 一敬 (東北大学大学院てんかん学分野)

林 雅晴 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)

【趣旨・狙い】

てんかん患者における原因不明の突然死は Sudden Unexpected Death in Epilepsy (SUDEP) と呼ばれ、欧米では近年、注目が高まっている。しかし、我が国では注目度がまだ低く、今後、研究・診療面で進展が期待されているトピックスである。SUDEP の原因・病態は未だに不明であり、さらなる研究によりそれらを解明するとともに、危険・予測因子を明らかにし、未然に防ぐための方法を確立する必要がある。本シンポジウムでは、小児てんかん・成人てんかんの各領域において、SUDEP に関して現時点で分かっている知見をレビューする。また、病理学・法医学の立場から、他の神経疾患患者や健常者でみられる突然死と対比することで SUDEP の問題点にせまる。

PS11-1 成人における SUDEP

SUDEP in adult patients

神 一敬

東北大学大学院てんかん学分野

PS11-2 小児薬剤抵抗性てんかんにおける SUDEP のバイオマーカー

The biomarker of SUDEP in children with drug-resistant epilepsy

岡成 和夫¹⁾、大坪 宏²⁾

1) 大分大学医学部小児科学講座 2) トロント小児病院神経科

PS11-3 病理学の立場より：他の小児神経疾患でみられる突然死

Sudden unexpected death in neuropaediatric disorders : from a viewpoint of neuropathology.

林 雅晴

東京都医学研脳発達・神経再生

PS11-4 異状死として取り扱ったてんかん症例の死因について—東京 23 区内異状死の死亡統計にみるてんかんの状況

The causes of unexpected epileptic deaths—Statistical trends of Tokyo medical examiner's office.

林 紀乃

東京都監察医務院

アドバンストコース 1 C 会場 (6F 交流ホール) 第 1 日/10 月 7 日(金) 10 : 00 ~ 10 : 50

座長 : 奥村 彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

AD1 新生児期発症のてんかん・てんかん症候群—遺伝子の新しい知見と概念の変遷に着目して
Electroclinical syndrome and epilepsy at neonatal period—new genetic contributions and their concepts

遠山 潤¹⁾²⁾

1) 国立病院機構西新潟中央病院 2) 新潟大学医歯学総合病院

アドバンストコース 2 C 会場 (6F 交流ホール) 第 1 日/10 月 7 日(金) 11 : 00 ~ 11 : 50

座長 : 永井 利三郎 (プール学院大学教育学部教育学科)

AD2 West 症候群の治療 update

Treatment and managment of West syndrome : An update

浜野 晋一郎

埼玉県立小児医療センター神経科

アドバンストコース 3 C 会場 (6F 交流ホール) 第 1 日/10 月 7 日(金) 13 : 10 ~ 14 : 00

座長 : 飛松 省三 (九州大学大学院医学研究院・臨床神経生理学分野)

AD3 臨床脳波 Update

Update of clinical electroencephalography (EEG)

人見 健文¹⁾、池田 昭夫²⁾

1) 京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学

2) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学

アドバンストコース 4 C 会場 (6F 交流ホール) 第 1 日/10 月 7 日(金) 14:10~15:00

座長: 加藤 天美 (近畿大学脳神経外科)

AD4 てんかんにおけるネットワーク探索

Exploration of epileptic network

江夏 怜

札幌医科大学医学部脳神経外科

アドバンストコース 5 C 会場 (6F 交流ホール) 第 1 日/10 月 7 日(金) 17:10~18:00

座長: 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)

AD5 ナトリウムチャンネルとてんかん・自閉症

Sodium channel and epilepsy/autism

山川 和弘

理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム

アドバンストコース 6 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日(土) 10:00~10:50

座長: 井上 有史 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

AD6 発達障害 update

Autism Spectrum Disorder-update

十一 元三^{1,2)}

1) 京都大学大学院医学研究科

2) Organization for Promoting Neurodevelopmental Disorder Research

アドバンストコース 7 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日(土) 11:00~11:50

座長: 廣瀬 伸一 (福岡大学医学部小児科)

AD7 エクソーム解析の進歩

Whole exome sequencing in epilepsy

松本 直通

横浜市立大学医学研究科遺伝学

アドバンストコース 8 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日(土) 13:10~14:00

座長: 夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座)

AD8 生体分子イメージングの現在と展望

In vivo molecular imaging at present and in future.

尾内 康臣

浜松医科大学光先端医学教育研究センター生体機能イメージング研究室

アドバンストコース 9 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日(土) 14:10~15:00

座長: 前原 健寿 (東京医科歯科大学脳神経外科)

AD9 てんかんの脳画像と解析法の進歩

Progress in neuroimaging and its analysis in epilepsy

松田 博史

国立精神・神経医療研究センター

アドバンストコース 10 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日(土) 16:10~17:00

座長: 鈴木 保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)

AD10 薬物代謝

Drug metabolism

猿渡 淳二^{1,2)}

1) 熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療学分野

2) 熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター

アドバンストコース 11 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日(土) 17:10~18:00

座長: 赤松 直樹 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部・福岡山王病院脳神経機能センター)

AD11 認知症とてんかん

Dementia and epilepsy.

松本 理器

京都大学大学院医学研究科臨床神経学

第 7 回てんかん専門医指導医講習会 A 会場 (1F 中ホール・大地) 第 1 日/10 月 7 日(金) 8:00~8:50

座長：高橋 幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

TS てんかんの遺伝カウンセリング

Genetic counseling of epilepsy

齋藤 伸治

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

第 11 回てんかん学研修セミナー D 会場 (10F 1001) 第 3 日/10 月 9 日(日) 13:10~16:20

座長：小国 弘量 (東京女子医科大学小児科)

1. 基礎：てんかん病理学の基礎

新井 信隆

東京都医学総合研究所

2. 成人診断：てんかんの鑑別診断と急性症候性発作 (ビデオ供覧)

臼井 桂子

札幌医科大学医学部神経科学講座

3. 成人治療：新規抗てんかん薬の使い方

久保田 英幹

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

4. 小児：小児期発病の特発性てんかん

安元 佐和

福岡大学小児科

5. 外科：遮断術 (脳梁離断、半球離断、軟膜下皮質多切)

前原 健寿

東京医科歯科大学脳外科

6. リハビリ、就労、法律：てんかんと高次脳機障害

鈴木 匡子

山形大学

てんかん教育入門コース第 1 部 C 会場 (6F 交流ホール) 第 3 日/10 月 9 日(日) 8:45~10:15

座長: 表 芳夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

EG1-1 診断・分類

Diagnosis and Classification of Epilepsy

白石 秀明

北海道大学病院小児科てんかんセンター

EG1-2 発作症状 (小児)

Epileptic seizures in childhood.

高山 留美子

北海道立子ども総合医療・療育センター

EG1-3 成人てんかんの発作症状

Seizure semiology of epilepsy in adult

小出 泰道

小出内科神経科

てんかん教育入門コース第 2 部 C 会場 (6F 交流ホール) 第 3 日/10 月 9 日(日) 10:30~12:00

座長: 廣澤 太輔 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

EG2-1 脳波 (小児)

Electroencephalogram in childhood.

秋山 倫之^{1,2)}

1) 岡山大学病院小児神経科 2) 岡山大学病院てんかんセンター

EG2-2 脳波を読むために

Things you need to know before reading EEG

宇留野 勝久

国立病院機構山形病院

EG2-3 画像検査

Neuroradiology

松田 一己^{1,2,3)}

1) 介護老人保健施設楽寿 2) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

3) さざ波てんかん神経クリニック

てんかん教育入門コース第 3 部 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 3 日/10 月 9 日(日) 13:10~14:40

座長：藤岡 真生 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

EG3-1 てんかんの外科的治療

Surgical treatment for refractory epilepsy

上利 崇、佐々木 達也、伊達 勲

Department of neurological surgery, Okayama University Graduate School

EG3-2 併存症とリハビリ

Comorbidity and rehabilitation

本岡 大道

久留米大学医学部神経精神医学講座

EG3-3 てんかんと社会福祉制度

Epilepsy and social welfare system

橋本 睦美

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

てんかん教育入門コース第 4 部 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 3 日/10 月 9 日(日) 14:55~16:25

座長：大星 大観 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

EG4-1 遺伝子・検体検査

Genetic and laboratory tests

福山 哲広

長野県立こども病院

EG4-2 内科的治療 (小児)

Medical treatments (for children).

田中 正樹

田中神経クリニック

EG4-3 内科的治療 (成人)

Medical treatment of epilepsy in adults

中村 文裕

さざ波てんかん神経クリニック

発作時ビデオ自習室 11F 会議室 1101 10 月 7 日 (金)・8 日 (土) 9:30~18:00、9 日 (日) 9:30~12:00

学術集会開催期間中、発作時ビデオをいつでも閲覧、学習できるように、発作時ビデオ自習室を設けています。

閲覧可能な発作として、大田原症候群、Dravet 症候群、遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん、ラスマッセン脳症、内側側頭葉てんかん症候群、前頭葉てんかん、側頭葉てんかん、後頭葉てんかん、良性乳児けいれん、中心・側頭部に棘波をもつ良性小児てんかん、小児欠神てんかん、若年欠神てんかん、若年ミオクロニーてんかん、West 症候群、Lennox-Gastaut 症候群、ミオクロニー失立発作てんかん、ミオクロニー欠神てんかん、徐波睡眠時に持続性棘徐波を示すてんかん、視床下部過誤腫、などでみられる発作を予定しています。ご自由にご覧ください。

メディカルスタッフセッション(JEPICA コラボセッション) E会場 (9F 910) 第3日/10月9日(日) 13:10~15:00

てんかん診療における多職種の人材育成

座長：西田 拓司 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

藤川 真由 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

【趣旨・狙い】

近年、てんかん診療における多職種の役割や機能への需要が高まり、スキルアップの取組みが行われるようになった。てんかんの多様性と、患者ニーズの多面的側面への精査や介入が重要視されてきたからである。しかし、現状では具体的な教育や臨床研修などの人材育成制度は統一されておらず、人的資源の向上は達成されていない。そこで、てんかん診療に従事し人材育成を行っている施設が研修プログラムや人材育成の現場を紹介する。その中でてんかんに特化した教育やスキル向上がどのように達成されるのかを検討する。また、今後の課題や研修制度などの導入・普及への方向性を模索する。

MDS1 院内認定てんかん専門医療者制度と育成

Hospital epilepsy specialty medical certification and training

杵渕 絵美、布施 賢一、遠山 潤

国立病院機構西新潟中央病院

MDS2 てんかん看護における中堅看護師育成の現状と課題。現場で学び育てること

Present status and issues of the education and learning of epilepsy proficient nurses

山口 規公美

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

MDS3 脳波技師の育成

Training of EEG technologists

神 一敬、中里 信和

東北大学大学院てんかん学分野

MDS4 言語聴覚士の育成

Training of speech-language-hearing therapists

漆畑 暁子

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

MDS5 大学病院てんかん診療における学部連携型の心理士養成

Inter-departmental collaboration on psychologist training in university hospital epilepsy care setting

藤川 真由

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

MDS6 発達のサポートから就労支援を担う作業療法士の育成に向けて

Occupational therapist employment support for people with epilepsy can grow

大島 真弓

国立精神・神経医療研究センター病院

MOSES トレーナーミーティング F 会場 (9F 904) 第 3 日/10 月 9 日(日) 15:10~17:00

座長：西田 拓司 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

ドイツ、ベールテルてんかんセンターの Rupprecht Thorbecke さんを囲んで、MOSES トレーナーの皆様が日頃の実践で疑問に思うこと、困ること、改善点、あるいは成功例などを持ち寄り、欧州での長い実践からの知恵を参考に、MOSES を今後活かすための議論を行います。

MOSES-指定発言 1

山崎 陽平

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

MOSES-指定発言 2

矢野 健一

東京大学医学部附属病院リハビリテーション部

コメンテーター

青柳 政彦

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

市民公開講座第 1 部 (日本てんかん協会共催) C 会場 (6F 交流ホール) 第 3 日/10 月 9 日 (日) 13:00~14:50

てんかんに
よりよく理解するために

座長：高橋 幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

【趣旨・狙い】

てんかんについてわかりやすく説明し、一般の方によく理解していただく。

COL1-1 こどものてんかん

Childhood epilepsy

久保田 裕子

森川クリニック

COL1-2 おとなのてんかん

Epilepsy in adult

溝渕 雅広

中村記念病院神経内科・てんかんセンター

COL1-3 てんかんの手術

Epilepsy surgery

西林 宏起

和歌山県立医科大学脳神経外科

COL1-4 てんかんのある人の生活支援

Living support for people with epilepsy

豊泉 三枝子

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

市民公開講座第 2 部 C 会場 (6F 交流ホール) 第 3 日/10 月 9 日 (日) 15:00~16:50

動物のてんかん

座長：今井 克美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

田所 裕二 (日本てんかん協会)

【趣旨・狙い】

動物のてんかん、その病態と治療、介助について、医療関係者および一般市民の方に理解を深めていただく。動物のてんかんへの理解を通じて、ヒトのてんかんの理解にもつながれば幸いである。

COL2-1 犬と猫のてんかん：獣医学領域におけるてんかん診療

Veterinary practice of canine and feline epilepsy

長谷川 大輔

日本獣医生命科学大学臨床獣医学部門

COL2-2 犬と猫のてんかん：動物病院での診療の実際

Epilepsy in dogs and cats : Actual practice at the animal hospital

渡辺 直之

渡辺動物病院